

## まんのう町国民健康保険特別会計の決算状況

(単位:千円)

会計年度	歳入 対前年差	歳出 対前年差	収支差引	前年度から の繰越金	単年度収支 差引	基金残高 対前年差
平成17年度	2,037,793 —	1,931,859 —	105,934	49,213	65,276	127,550 —
18	2,238,401 200,608	2,109,072 177,213	129,329	105,934	23,394	129,125 1,575
19	2,440,514 202,113	2,302,407 193,335	138,107	129,329	6,777	129,629 504
20	2,331,419 ▲ 109,095	2,230,597 ▲ 71,810	100,822	138,107	▲ 37,177	129,736 107
21	2,229,101 ▲ 102,318	2,208,680 ▲ 21,917	20,421	100,822	▲ 80,401	129,842 106
22	2,356,965 127,864	2,311,499 102,819	45,466	20,421	25,045	129,887 45
23	2,402,671 45,706	2,369,130 57,631	33,541	45,466	▲ 11,925	79,898 ▲ 49,989
24	2,396,731 ▲ 5,940	2,302,562 ▲ 66,568	94,169	33,541	60,627	79,933 35
25	2,377,126 ▲ 19,605	2,353,455 50,893	23,671	94,169	▲ 85,498	64,968 ▲ 14,965
26	2,283,667 ▲ 93,459	2,274,437 ▲ 79,018	9,230	23,671	▲ 39,442	40,001 ▲ 24,967

近年、医療費の増加によりまんのう町の国民健康保険（以下、国保）の財政は、厳しい状況となっています。また、医療費が多額な町として平成20年度から厚生労働省（現在は、香川県）より指定を受けています。

国保は、他の保険の対象にならない方が加入する制度であることから、加入者の年齢層が高く、年齢とともに増加傾向にある医療費が厳しい財政事情の要因の一つとなっています。

平成20年度以降は単年度収支の赤字が目立ちます。平成22年度には、国保税の増額を行い単年度収支も黒字であったものの、平成23・25・26年度には基金を取り崩しており財政的余力が極めて少なくなっています。更なる医療費の増加が懸念されるなか、国保財政は危機的状況にあるといえます。

国保特別会計は、医療費の支出額に応じて国保税等の収入を確保する仕組みとなっています。このことから、支出額（医療費）の増加に対して、収入額が少ないことなどを理由に支出額（医療費の支払い）を制限することができないものとなっています。

被保険者の皆様におかれましては、日頃からの健康管理や健診の受診による早期発見・早期治療に心がけるとともに、国保税の納税についてもご理解・ご協力をお願いします。